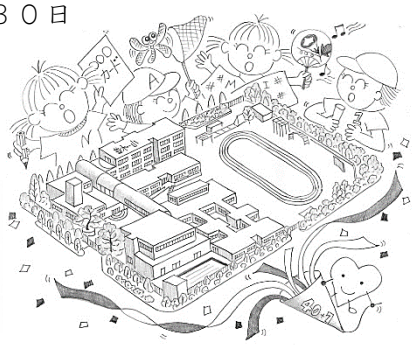
横浜市立並木第一小学校　学校だより　第７９０号　令和８年１０月３０日

並木通信

わたしの生活は　わたしが創ります



並木のまちとともに

副校長　服部　可奈

10月17日（土）に富岡総合公園感謝DAYが行われました。今回、並木第一小学校からは4クラスが参加しました。出店・ステージ発表を通して、これまでの学習の成果を発揮した子どもたち。応援してくださった保護者・地域のみなさま、子どもたちが生き生きと活動することのできる場を設けてくださった公園スタッフのみなさま、本当にありがとうございました。

実は、感謝DAYへの児童の参加は、昨年が初めてでした。きっかけは、サマーフェスタに出演した5年生への「感謝DAYにも出ませんか？」というお誘いでした。それ以来、公園スタッフの方には何度も学校に足を運んでいただき、公園ブログに子どもたちの活動の紹介もしていただきました。スタッフの方とお話しすると、言葉の端々から「学校・子どもたちの力になりたい！」という熱意が伝わってきて、そのたびに心打たれました。今年は、並一タイムに来てくださっただけでなく、理科の出前授業もしてくださいました。また、2年生が虫探しに出かけた際には、丁寧に案内してくださったそうです。公園スタッフの方のお声がけにより、また一つ、まち・地域とのつながりが増えたことをたいへん嬉しく思っています。



ステージ発表後の3年生。頑張りました！

富岡総合公園以外にも、並一タイムや社会科の学習では子どもたちがまちに出て活動することがよくあります。私たちが子どもたちを安心してまちに出すことができるのは、地域の方々の優しさやあたたかい眼差しに支えられているところが大きいです。通学路で転んだ子のことを心配し、学校に電話してくださる方や手当てをしてくださる方、落とし物を届けてくださる方。運動会前に騒音へのお詫びのお手紙を郵便受けに入れていたら、「うちの子も並一に通っていたから、全然気にしなくて大丈夫ですよ。」と近隣の方が声をかけてくださいました。また、本校には、さまざまな場面で学校を支えてくださっているPハート隊があります。そうした方々の優しさやあたたかさに触れるたびに、学校が地域のみなさんに愛されていることを実感し、心強く思います。子どもたちには地域のみなさんが支えってくださっていることを当たり前のことと思わず、感謝の気持ちをもってほしいと願っています。

並木のまちとともに生まれた並木第一小学校。再来年にはいよいよ50周年を迎えます。50周年に向け、まちの中の学校として、「地域のみなさんに誇りに思ってもらえる学校」を目指し、引き続き教育活動を行ってまいります。